

令和4年度ホタテガイ採苗情報（第1報）

令和4年4月25日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイラーバ・付着稚貝調査を開始しました。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は7.1℃で例年同時期より低く、透明度は11mでした。
 - 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバは52個/m³出現し、200μm以上の大型のラーバは出現しませんでした。
 - ムラサキイガイ、キヌマトイガイのラーバ出現数は、昨年同時期と同程度です。
 - 野田（下安家）では、ホタテガイの付着稚貝はまだ確認されていません。
- ※唐丹湾における付着稚貝調査結果は次報から掲載します。

< 陸奥湾の状況（4月21日発行ホタテガイ採苗速報（第3号）） >

- 採苗器投入は4月末～5月初めになる見込み。全湾でホタテガイラーバ出現数が平年より少ないため、採苗器を多めに準備するよう呼びかけ。

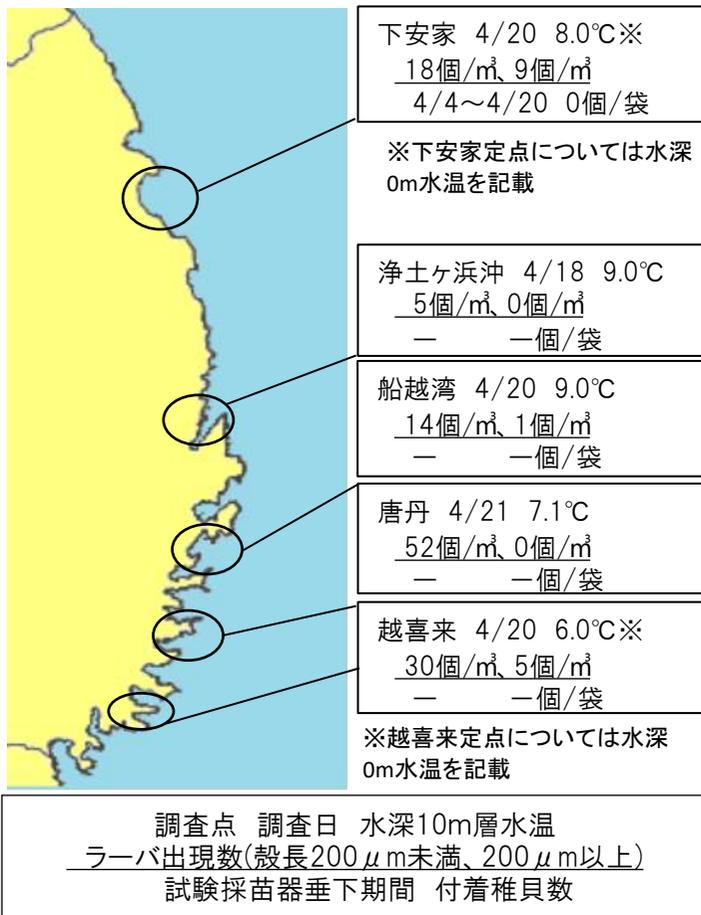


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、4月28日頃に
発行する予定です。

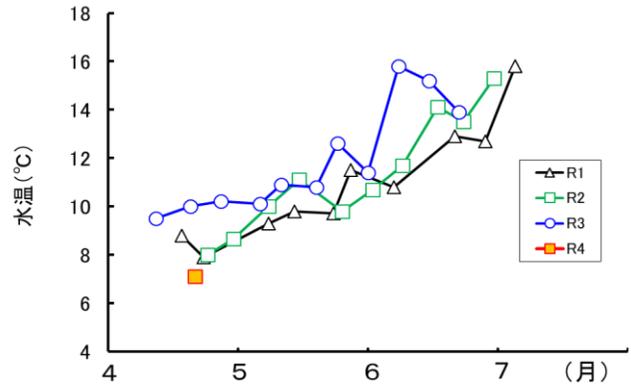


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

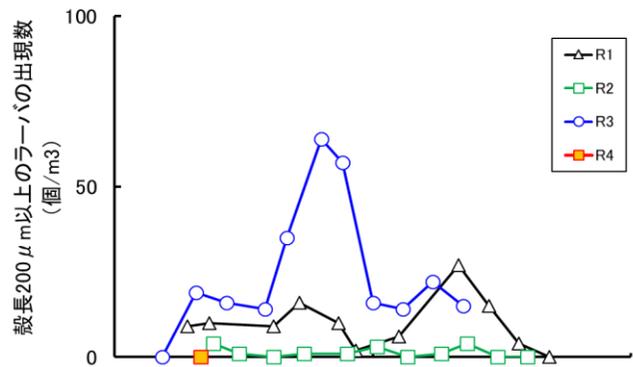


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数